平成28年度病害虫発生予報第4号（7月予報）

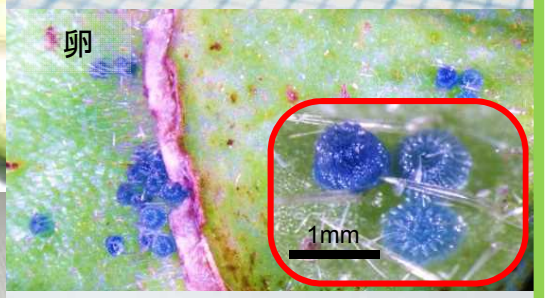
＜今月のコラム＞　・水稲（二期作）に向けての病害虫防除対策について
・台風第1号の発生が遅いことについて

今月のトピックス

クサオビリンガ　（オクラ）
学名：*Earias vittella*











生態と被害

本種の幼虫は、おもに、ハイビスカスなどのアオイ科の蕾や新梢を食害する。国外ではワタの重要害虫で、トマトやナスも加害することが知られる。オクラでは新梢や果実に穴を開けて食害する。成虫は開張約22mm。前翅の付け根から外縁部にかけて三角状の鮮やかな緑色の斑紋を持つ。雌成虫は、スカイブルー色の卵を200個前後、寄主植物の葉や果実、茎などの表面にばらばらに産み付ける。気温26℃条件下では30日前後で成虫になる。中国、アジア、インド、南太平洋諸島、オーストラリアなどの熱帯・亜熱帯地域に分布する。国内では南西諸島には広く分布する。

http://www.pref.okinawa.jp/site/norin/byogaichubojo/index.html

平成28年7月1日
沖縄県病害虫防除技術センター